

## 学校再編基本計画について

### 1. 現行の学校再編基本計画

#### (1) 学校再編に関する計画の全体像

	H29	R3	R8
学校再編基本計画 (基本的な考え方)	H29年度～R7年度の9年間		次期基本計画
第一次実施計画 (具体的な組み合わせ)	H29～R2年度の4年間 ・西陵中と富士見中の統合 ・二宮小と緑ヶ丘小の統合		今回策定する計画
第二次実施計画 (具体的な組み合わせ)		R3～R7年度の5年間 ・本納小と新治小の統合 ・本納小と豊岡小の統合 ・南中と早野中の統合	

#### (2) 学校再編の考え方、基本方針、基本的な方向性

現行の基本計画では、次のように定めています。

##### ①学校再編の考え方

教育環境の充実を最優先	再編にあたっての配慮
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校における一定の集団規模の確保</li> <li>学校行事や部活動等の充実 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の発信、提供</li> <li>地域住民の理解 など</li> </ul>

##### ②基本方針

適正規模の維持	再編後の教育施設等の充実	通学手段・安全性の確保
<ul style="list-style-type: none"> <li>複式学級や単学級を解消し、将来にわたり学校の適正規模を維持することを目指す など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>再編後の校舎やトイレ等の改修に努める</li> <li>教育力の向上を図る など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スクールバスの導入など通学手段の確保する</li> <li>通学路の整備など通学における安全性を確保するなど</li> </ul>

③学校規模ごとの基本的な方向性	
小学校	
全体の学級数	基本的な方向性
12～18 学級	適正規模
9～11 学級	統廃合や学区の見直し等、適正規模に近づける方策を検討する
7～8 学級	今後児童数が減少し単学級となる見込みであれば統廃合を行う
6 学級	今後児童数の増加が見込めなければ、速やかに統廃合する
1～5 学級	速やかに統廃合する
中学校	
全体の学級数	基本的な方向性
9～18 学級	適正規模
6～8 学級	今後生徒数が減少する見込みであれば、統廃合や学区の見直し等を行う
4～5 学級	
3 学級	速やかに統廃合する
1～2 学級	

## 2. 次期学校再編基本計画の策定に向けて

現行の「①学校再編の考え方」、「②基本方針」、「③基本的な方向性」は、平成29年の計画策定から一定の期間が経過していることから、次期基本計画の策定に向け、これらの考え方が現在の情勢に適しているか否かについて検討する必要があります。

そのため、まず市民アンケート調査を行い、その結果や現行計画の評価等をもとに審議を行っていきます。審議の結果、見直しが必要となった内容は、次期基本計画の策定に反映していきます。

※具体的な学校統合の組み合わせを定める実施計画については、基本計画に基づいて策定するものであり、本審議会では審議しません。

### 【参考】

茂原市学校再編基本計画

